

令和4年度 重点課題の評価

令和4年度 高岡龍谷高校アクションプラン - 1 -	
重点項目	学習活動(学習指導)
重点課題	学習習慣の確立、学習意欲向上を図る授業の推進
現 状	<p>(1) 学習意欲が低い生徒も多く、自学自習の習慣が定着していない。</p> <p>(2) 昨年度の生活実態調査において、授業以外の学習時間が1時間以上と回答した生徒は平日 27.9%、休日 33.2%と、学習時間が年々不足している。</p> <p>(3) 各自の進路実現に向けて、学力向上の必要性を実感していない。</p>
達成目標	平日に1時間を超えて学習する生徒の割合 50%以上を目標とする。
方 策	<p>(1) 授業の予習—授業—復習のサイクルを定着させ、最終的に自主的に学習に向かう姿勢を養う。</p> <p>(2) 適切な課題に取り組みせることで学習体制を整える足掛かりとする。また、課題と連動した小テストを実施し評価することで達成感を味わわせ、継続的な学習への動機づけを図る。</p> <p>(3) 生徒の学習意欲を高め、基礎学力定着に至る授業展開となっているかを検証・改善する。</p>
評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新課程に無事移行できた。 ・ICTを利用した授業展開が増加した。 ・学習時間があまり増加していない。 ・家庭学習への働きかけが足りなかった。
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTをもっと活用し、自学自習の定着を図る。 ・教員全体のスキルを向上させ、臨機応変な授業展開を目指す。

重点項目	進路支援（進路意識を高める進路指導）
重点課題	進路意識の高揚と適切な進路選択に向けた指導の充実
現 状	<p>(1) 自己の進路実現に対して様々な体験活動を通して意欲の向上につなげる必要がある。</p> <p>(2) 各学年と連携をとり、学年に応じた進路意識を持たせる必要がある。</p>
達成目標	<p>(1) 学年に応じたタイムリーな進路指導を行い、進路決定のプロセスを早めさせる。</p> <p>(2) 進学希望者の第1希望合格率85%を目標とする。</p> <p>(3) 就職希望者の就職内定率100%を目標とする。</p>
方 策	<p>(1) 生徒の3年間を見通した上で、進路講座やガイダンスを計画的に配置し、将来への目標を明確にするとともに、そこに向かうことの重要性を理解させる。</p> <p>(2) 生徒が個々の目標に応じて自主的に学習に取り組めるよう、模擬試験や面接を効果的に実施する。</p> <p>(3) 生徒一人ひとりが学校生活の節目節目に、振り返りや個々の成長を記録し、蓄積する機会を設ける。</p>
評価	<p>C (1) 年々進路へのプロセスは早まっているが、それゆえに生徒の適性や能力と進路とのギャップが見られるというデメリットも見られた。担任や学年の指導力がより問われることになる。</p> <p>(2) 進学希望者の第1希望合格率は87.1%</p> <p>(3) 就職希望者の就職内定率は100%</p>
次年度への課題	<p>(1) 上級学校や地域の企業などとのつながりを進路指導に活用していく。</p> <p>(2) classi およびすららを活用し、学力向上を図る。</p> <p>(3) 自走する生徒を支援する体制や人材づくり</p>

令和4年度 高岡龍谷高校アクションプラン - 3 -

重点項目	社会性の育成（人間関係構築能力の向上）
重点課題	良好な人間関係を構築するための挨拶の徹底
現 状	<p>（1）挨拶はある程度習慣化されてはいるが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、徹底してはいない。</p> <p>（2）職員室等の出入りの際の挨拶が十分ではない生徒がいる。</p> <p>（3）来客や、外部の人への挨拶が十分ではない生徒がいる。</p>
達成目標	生徒どうしの挨拶、教員への挨拶、職員室での入退出および外来者への挨拶をしている生徒の比率をアンケートによって調査し、挨拶をしている生徒の割合 85%以上を目標とする。
方 策	<p>（1）生徒指導部や生徒会、部活動等と連携をとり、学校独自の挨拶運動を可能な範囲で実施する。</p> <p>（2）教員が自ら手本となるように積極的に挨拶を交わす。</p> <p>（3）職員室の出入りの挨拶は、根気強く生徒に声かけをする。</p>
評 価	<p>B</p> <p>（1）各学期末におこなう「あいさつ度チェックアンケート」の年度末結果は 85.2%であり、目標の 85%以上を達成することができた。</p> <p>（2）運動部ではない生徒も徐々にではあるが挨拶を元気にしている場面をよく目にするようになった。</p>
次年度への課題	今年度の「あいさつ度チェックアンケート」の結果推移を見ると、82.6%→86.8%→86.4%となっており、2学期をピークに3学期は下がった。次年度は、3学期になっても元気に挨拶ができるよう生徒会執行部を中心に全生徒に働きかけをする。（次年度は目標値を 85%から 90%に上げる予定。）

重点項目	学校生活（制服の着こなし）
重点課題	制服の正しい着こなし
現 状	新制服から7年目を迎え、かなり正しい着こなしが定着している。しかし、学校生活や行事・活動の中で、一部服装の乱れを気にしない生徒がいる。
達成目標	制服の着こなしについてチェック表を使って振り返り、達成率 100%を目指す。
方 策	<p>(1) 制服着こなし講座を受講させ、制服の意義や個々の生徒が所属する学校全体への影響にも気づかせる。</p> <p>(2) 「高龍身だしなみチェック」を各学期末に実施し、身だしなみの自己管理意識を高める。</p> <p>(3) 「高龍身だしなみチェック」では、制服の着こなしだけでなく履物や髪型等トータルでの啓蒙を行う。</p>
評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着こなし度チェックにおいては、1 学期 48.6 ポイント（満点 50 ポイント）であったが、3 学期 には 48.9 ポイントにアップできた。 ・校内だけでなく、校外においても制服の正しい着こなしが徹底されている。
次年度への課題	制服を正しく着こなすために声かけ、「着こなし度チェック」を行い意識の高揚を図る。